

中国鳥類観察 2008 第2期

セキショクヤケイ (原鷄)

—海南島から雲南省、江西チワン自治区西南へ
鐘 嘉

2005年11月12日、念願のセキショクヤケイを見るために海南島の大田坡鹿保護区へ行っ^{フアディンバク}た。着いたのは正午頃、暑いさかりだった。原野も森も静かで、鳥の影も少なく、我々は森の中で長く保護されて来なかった森林の姿を見た。私は諦めきれず、一人、森の中へ戻った。期待通り奇跡が起こった。10mほどさきの左手草地の中から赤い一団がバラバラと密林の中へ、あっという間に逃げ込んだ。私は呆然と、この赤い一団は何だろう？もしやセキショクヤケイ？！引き返し、鳥仲間にこの話しをしたところ、少なからず羨ましく思われたようだが、私には自信がなかった。目撃した鳥の種名がセキショクヤケイ？と疑問符が付いたまま、いつこの？がとれる時が来るだろうか。

それから2年、2007年12月13日、私と仲間たちは雲南省西部を訪れたとき、道路に架かった橋の下に整流が流れ、付近には農耕地と農家が見えた。延々と続く岸辺に1羽の雄鷄が頭を持ち上げて胸を張り、ゆっくりと歩いていた。誰ともなく「セキショクヤケイ」と声があがった。皆一カ所に集まり一斉に観察をはじめた。体はニワトリに比較して長く、明らかに赤い鷄冠や肉垂がなく、緑色の尾羽は長く、高く、腰の部分に一塊の白色の羽毛が浮き出ている。彼はゆっくりと河辺から森の中へ消えた。悠々と、静かに、こんな家の近くでゆったりとぶらつくなんて、私には考えられない、まさかニワトリでは？

その夜仲間たちは図鑑を調べ全員が結論を下した。セキショクヤケイだ！ 決め手は腰の白い羽毛だった。

北京へ帰って、テレビでベトナムの水上家屋が写っているのを見た。そこに船上で飼われている1羽の赤い雄鷄で、尾羽が緑の大きな雄鷄が映っていた。誰が言ったのだろう、セキショクヤケイは腰に白い羽があると？ このベトナムの人家で飼われている雄鷄の腰にははっきりと幾つかの白い羽毛が見えるではないか！これは確実に水上家屋ではないか、セキショクヤケイが家々を訪ね歩くような場所ではない！ああ！私のセキショクヤケイ目撃記録の疑問は続くことになってしまった。

それから2カ月後08年2月21日、私は広西省弄崗保護区^{ロンガ}へ行っ^{グン}た。正午頃古い民家で昼食をとった。四方が竹の壁で囲まれた家の中で、なんと一皿の白切鷄^{ブイ}がテーブルに置かれたではないか！

箸をとった当家の老人が言うには、「これは原鷄です！」「はあ？」言葉が出ない私に、周囲の村人たちは「そうです、原鷄が家に来て飼い鷄と交雑した子どもなのです」と言った。さらに、毎日この庭に原鷄が餌を食べにきて飼い鷄と互いに通じ合っていること、しかし、人とはある程度の距離が保たれていることを語った。「今日も来るのですか？」という私の問いに「来ると思う、たいいて午後4時ころでしょう」よし！私は待つことにした。

老人たちの話しでは、飼い鷄に比べ原鷄の羽毛は美しく、体は小さく、脚が短く、雄鷄の鷄冠が小さい。とのことで、「体が小さいとはどのくらい？」との私の問いに「半分くらい」と答えた。飼い鷄の雄鷄が通常約2kgはあるが、原鷄の雄は約1kgほどしかない、雌でも約1.5kgとのこと。この地方の人は鳥の大きさを重量単位で表現するようだ。「10gくらいの小鳥」とか、

「500g ほどの鳥」と言ったように。

この時老婆が庭に戻ってきて「原鶏は今日は来てしまった。私が残飯を捨てたら1羽の雄原鶏が十数m先の薯畑にいた。私の周りには飼い鶏がいて静かにしていた」と言った。原鶏は脚が短くて、体が小さく、尾羽が長い。我々は嘴から尾羽までの長短によって原鶏の大きさを言うので、ニワトリに比較して小さいとは思えないし、図鑑でも雄の猛々しさが見て取れる。もしも重量によって大きさを言うならば、一見して原鶏がニワトリに比較して小さいとわかるだろう。

身を翻し足早に去っていく原鶏を見た人は、結局、彼は野生動物なのだと知る。この古い山村に来て、庭にいる原鶏の子孫たちが、鶏冠は父親に似ており、体型は母親のようであることを知った。

これをもって、江西省西部の原鶏問題も体格から全てが間違いなかろうと思った。しかし、海南島で会った頭から尾っぽまで赤かった鶏は何だったのだろう。

訳注

*1 白切鶏；鶏をまるのまま白湯でざっと茹で、小片に切っただけの料理。